

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
株式会社新築15号棟

欄に数値またはコメントを記入

 ■使用評価マニュアル CASBEE-新築 (簡易版) 2008年
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)
スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						
Q1 室内環境						
1 音環境						
1.1 騒音						
1 暗騒音レベル		2.3	0.15	-	-	2.3
1.2 遮音						
1 開口部遮音性能		2.0	0.67	-	-	
2 界壁遮音性能		2.0	1.00	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.33	3.0	-	
2 溫熱環境						
2.1 室温制御						
1 室温設定		4.4	0.35	-	-	4.4
2 節電効率・運転制御性		-	-	3.0	-	
3 外皮性能	冷蔵・冷凍倉庫のため断熱性能を有する	5.0	0.40	3.0	-	
4 ゾーン別制御性	冷蔵・冷凍倉庫のためゾーン別制御性を有する	4.0	0.60	3.0	-	
5 温度・湿度制御		-	-	3.0	-	
6 搬動制御		-	-	3.0	-	
7 昼間外空調に対する配慮		-	-	3.0	-	
8 監視システム		-	-	3.0	-	
2.2 湿度制御		-	-	3.0	-	
2.3 空調方式		-	-	3.0	-	
3 光・視環境						
3.1 昼光利用						
1 昼光率		2.2	0.25	-	-	2.2
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		-	-	3.0	-	
3.2 グレア対策						
1 照明器具のグレア		-	-	3.0	-	
2 昼光制御		-	-	3.0	-	
3.3 照度						
1 照度		1.0	0.38	-	-	
2 脈動照度		1.0	1.00	3.0	-	
3.4 照明制御						
3.0		3.0	0.63	3.0	-	
4 空気質環境						
4.1 発生源対策						
1 化学汚染物質		2.4	0.25	-	-	2.4
2 アバベント対策		3.0	0.71	-	-	
3 微生物対策		3.0	1.00	3.0	-	
4 リサイクル対策		-	-	3.0	-	
4.2 換気						
1 換気量		-	-	3.0	-	
2 自然換気性能		-	-	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	-	
4.3 運用管理						
1 CO ₂ の監視		1.0	0.29	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	3.0	-	
1.0		1.0	1.00	3.0	-	
Q2 サービス性能						
1 機能性						
1.1 機能性・使いやすさ						
1 広さ・収納性		2.0	0.40	-	-	2.0
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-	
3 パリアフリー計画		-	-	3.0	-	
1.2 心理性・快適性						
1 広さ感・景観		2.0	1.00	-	-	
2 リフレッシュスペース		-	-	3.0	-	
3 内装計画		1.0	0.50	3.0	-	
1.3 維持管理						
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	3.0	-	
2 維持管理用機能の確保		-	-	3.0	-	
3.0		3.0	-	3.0	-	
2 耐用性・信頼性						
2.1 耐震・免震						
1 耐震性		2.9	0.31	-	-	2.9
2 免震・制振性能		3.0	0.48	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						
1 軟体材料の耐用年数		3.0	0.80	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.33	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	
3.0		3.0	0.08	-	-	
3.0		3.0	0.15	-	-	
3.0		3.0	0.23	-	-	

				-	-	-	-	
	2.3 運物の更新 2.4 信頼性 1 空調・換気設備 2 給排水・衛生設備 3 電気設備 4 機械・配管支持方法 5 通信・情報設備			2.6 3.0 3.0 1.0 3.0 3.0	0.19 0.20 0.20 0.20 0.20 0.20			
3 対応性・更新性 3.1 空間のゆとり 1 階高のゆとり 2 空間の形状・自由さ 3.2 荷重のゆとり 3.3 設備の更新性 1 空調配管の更新性 2 給排水管の更新性 3 電気配線の更新性 4 通信配線の更新性 5 設備機器の更新性 6 パックアップスペース				3.8 3.8 5.0 2.0 5.0 3.0	0.29 0.31 0.60 0.40 0.31 0.38			3.8
Q3 室外環境(敷地内) 1 生物環境の保全と創出 2 まちなみ・景観への配慮 3 地域性・アメニティへの配慮 3.1 地域性への配慮、快適性の向上 3.2 敷地内温熱環境の向上		冷蔵・冷凍倉庫のため階高のゆとりを有する 冷蔵・冷凍倉庫のため荷重のゆとりを有する		3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.17 0.17 0.11 0.11 0.22 0.22			
LR 建築物の環境負荷低減性 LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.0
1 建物の熱負荷抑制 2 自然エネルギー利用 2.1 自然エネルギーの直接利用 2.2 自然エネルギーの変換利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制				3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.29 0.50 0.50			3.0
LR2 資源・マテリアル 1 水資源保護 1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水再利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雜排水再利システム導入の有無		屋上緑化に雨水を使用(センサ式自動かん水システム導入)		3.4 3.0 3.6 4.0 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33			3.4
2 非再生性資源の使用量削減 2.1 材料使用量の削減 2.2 既存建築躯体等の継続使用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		床:スタイロフォーム、壁・天井:ソフラン-R		3.2 3.0 3.0 4.0 - 3.0	0.63 0.07 0.25 0.21 - 0.25			3.2
3 汚染物質含有材料の使用回避 3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 断熱材 3 冷媒		クリティカルユース用途に分類されないため		3.2 3.0 3.3 4.0 3.0 3.0	0.22 0.32 0.68 0.33 0.33 0.33			3.2
LR3 敷地外環境 1 地球温暖化への配慮 2 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制				- <td>0.30</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2.6</td>	0.30	-	-	2.6
3 周辺環境への配慮 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 3.2 風害、日照阻害の抑制 1 風害の抑制 2 日照阻害の抑制 3.3 光害の抑制 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				2.7 2.3 3.0 2.0 2.5 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			2.7 2.3 3.2 3.0